

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2003-302702 (P2003-302702A)
 【公開日】平成 15 年 10 月 24 日 (2003.10.24)
 【出願番号】特願 2002-108890 (P2002-108890)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 B 21/14
 G 0 2 F 1/13
 G 0 2 F 1/13357
 G 0 3 B 21/00

【F I】

G 0 3 B 21/14 A
 G 0 2 F 1/13 5 0 5
 G 0 2 F 1/13357
 G 0 3 B 21/00 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 10 月 19 日 (2004.10.19)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

光源と、該光源の発する光を略均一な平行光束に変換する第 1 の手段と、印加される映像信号に従い入射する直線偏光を変調して画像を形成する第 2 の手段と、前記第 1 の手段から出射する平行光束を直線偏光に変換して前記第 2 の手段に入射させる第 3 の手段と、前記第 2 の手段の形成した画像を映像として拡大投写する第 4 の手段とを備える投写型表示装置において、

前記光源が発光ダイオードであり、かつ前記第 1 の手段が矩形断面を有することを特徴とする投写型表示装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

前記第 1 の手段が略四角柱の硝子からなることを特徴とする請求項 1 に記載の投写型表示装置。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 3】

前記第 1 の手段が、筒状であり、内表面に鏡が形成された反射鏡からなることを特徴とする請求項 1 に記載の投写型表示装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成すべく、請求項1に記載の発明は、光源と、該光源の発する光を略均一な平行光束に変換する第1の手段と、印加される映像信号に従い入射する直線偏光を変調して画像を形成する第2の手段と、前記第1の手段から出射する平行光束を直線偏光に変換して前記第2の手段に入射させる第3の手段と、前記第2の手段の形成した画像を映像として拡大投写する第4の手段とを備える投写型表示装置において、

前記光源が発光ダイオードからなり、かつ前記第1の手段が矩形断面を有することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、前記第1の手段が略四角柱の硝子からなることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項3に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、前記第1の手段が、筒状であり、内表面に鏡が形成された反射鏡からなることを特徴とする。